

maxell

リチウムイオン蓄電システム

取扱説明書

エナジーステーションタイプ T

品番：SES080T-056E

保証書別添付

EnergyStation type T

エナジーステーション タイプ T



このたびは、マクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、本装置を正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書および保証書はいつでもご覧になれるよう、お手元に大切に保管してください。

別紙で追加情報が同梱されているときは必ずお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

注意

本装置をご使用になるときは「安全上のご注意」をお守りください。火災や感電などの人身事故の原因になります。

DSS0022-01

目次

はじめに	3
取扱説明書をお読みになるにあたって	3
免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）	3
安全上のご注意	4
特徴と使いかた	9
重要なお知らせ	9
内蔵（リチウムイオン）電池には寿命があります	9
寿命判定による動作の停止機能について	9
使用上のお願い	9
消費電力別の使用時間の目安	10
接続する機器に関するご注意	10
使用できる製品とできない製品	10
同梱品の確認	11
各部のなまえと操作パネル	11
操作パネルの見かた	12
設置後にはじめてご使用になる場合	13
運転する	13
接続機器の消費電力が許容範囲内か確認する	14
充電が完了した場合	14
停電時の操作	15
停電が発生した場合	15
不使用時の電池消費節約操作	15
シャットダウン操作	16
本装置をシャットダウンする	16
ブザー停止・残量表示スイッチの使いかた	17
アラーム発生時の復帰方法	18
本機を移設する場合	19
装置の動作状態	20
コーション・アラーム発生時の表示	25
（例）過負荷の場合	25
メンテナンスについて	26
1回/日 下記の点検を行ってください。（運転時 LED の点灯状態確認）	26
1回/年 下記の点検を行ってください。（停電時の動作確認）	26
非常停止する	27
よくあるご質問にお答えします	27
故障かなと思ったら	27
仕様	28
ご参考	29
取扱説明書で使用している用語・略語	29
配線用推奨部品	29
本装置の設計標準使用期間について	30
本装置の廃棄について	30
保証とアフターサービス	31
ご転居されるとき	31
本取扱説明書の URL について	31

はじめに

取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管ください。

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書は、実物と取扱説明書に記載している図などが一部異なる場合があります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきまして、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標です。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、異常電圧、指定外の電圧や周波数などによる故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 第三者^{*}による行為、その他の事故、ご購入者様もしくはご購入者様から指定された使用者様の故意または過失、誤使用による故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の安全上のご注意の注意事項などに従わなかったために生じた故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障、損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、料金等の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置は、人口呼吸器、心臓ペースメーカーなど人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本装置を使用し、本装置の故障により人身事故が発生した場合、また、本装置と接続した機器との組み合わせによる誤作動などによる損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本装置は日本国内仕様です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。
- 本装置の故障に起因する二次的な損害（期待した利益の喪失、データ消失、精神的な損害など）の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

※ご購入者またはご購入者から指定されたご使用者以外のかた

安全上のご注意

使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にご使用いただき、ご購入者様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

	危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷 ^{*1} を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
	警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
	注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害 ^{*2} を負う可能性または物的損害 ^{*3} が発生する可能性があること」を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

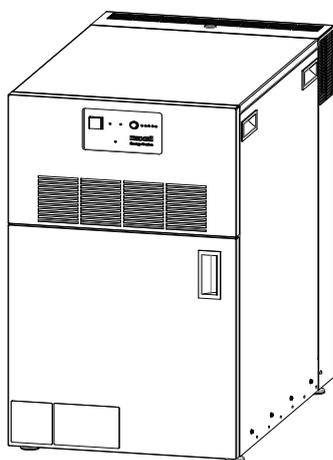
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「強制」内容のものです。

- 本装置には、安全に使用していただくため、注意事項を明記した「警告ラベル」「注意ラベル」等が貼り付けてあります。本書の記載内容とあわせて、ラベルの内容をご確認いただき、安全にご使用ください。
- 本装置に貼り付けてあるラベルは汚したり、剥がしたりしないでください。



ラベル表示内容例



	警告	・異常な発熱、異臭、発煙等の異常の場合は、使用を中止して分電盤のブレーカーを切り、下記に連絡してください。 ・装置の分解、改造をしないでください。発煙、発火、破裂の恐れがあります。 ・付属のケーブル以外は使用しないでください。
	注意	・装置の修理、点検については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。なお、取扱説明書記載事項以外の用途では使用しないでください。 ・装置の使用電力は800W以下にてご使用ください。
	点検	・赤色/橙色LEDが点灯/点滅している場合は、簡易取扱説明書「メンテナンスについて」を確認し操作してください。
マクセル株式会社 サポートセンター 〒618-8525 京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1番地 ☎0120-977-282 品名：エナジーステーションタイプ 型式：SES080T-056E Made in Japan		

※ラベル表示内容は変更になる可能性があります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 危険



分解禁止

- 本装置は、分解、改造を行わないでください。

本装置には危険を防止するための保護機構や保護装置が組み込まれています。これが故障すると、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



分解禁止

- 本装置の内蔵電池を取り外したり交換を行わないでください。

本装置には危険を防止するための保護機構や保護装置が組み込まれています。これが故障すると、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



禁止

- 本装置の出力コンセントに、針金やヘアピンなどの金属を差し込んでショートさせないでください。また、破損した電源ケーブルを使用しないでください。

感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



禁止

- 本装置を火気に近づけたり、火中へ投入しないでください。

激しい発火が起きて火災や、やけどなどの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本装置を結露しやすい環境で使用および保管しないでください。また水洗いしないでください。

感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



禁止

- 本装置に衝撃を与えたりしないでください。

内部に組み込まれている保護装置が故障すると、異常な電流や電圧で内蔵電池が充電され、内蔵電池が漏液、発熱、破裂、発煙、火災などの原因になります。



禁止

- 物を載せたり、布などで本装置を覆ったりしないでください。

熱がこもり、発熱、発煙、火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 濡れた手で、本装置や接続する電気機器のプラグに触れないでください。

感電の原因になります。



禁止

- 本装置内部からもれた液体には触れないでください。

液体が目に入ったときは、こすらず、きれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に傷害を与える原因になります。



禁止

- 吸気口および排気口から針金などを入れないでください。

感電の原因になります。



禁止

- 本装置を熱源の近くに設置しないでください。

熱がこもり、発熱、発煙、火災などの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

危険



禁止

- 本装置は落下転倒させないでください。落下転倒させた場合は据付しないでください。内蔵電池が内部短絡して発煙・発火の原因になります。



禁止

- 吸気口および排気口の前に物を置かないでください。吸気口および排気口が塞がれると、故障、発熱、発煙、火災の原因になります。



指示を守る

- 本装置から異臭、異音、発熱、発煙が発生した場合は、出力スイッチ（Power）をオフにして、同梱 AC ケーブルを外してください。そのまま使用すると、場合によっては内蔵電池が発熱、破裂、発火などの原因になります。



禁止

- ACケーブルは同梱品以外使用しないでください。同梱品以外のACケーブルを使用すると、負荷の消費電力が大きい場合にACケーブルが発熱することがあるため危険です。



禁止

- 感電防止のため、アース付き3極端子をアース無し2極端子に変換せず使用してください。感電の原因になります。

警告



指示を守る

- 本装置内部の液が、皮膚や衣類に付着したときには、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。



指示を守る

- 本装置を使用する場所は清潔にしてください。粉じんや小さな金属物などが装置内部に入ると、短絡して発煙や発火のおそれがあります。



禁止

- 本装置は小さなお子様には使用させないでください。故障やけがなどの原因になります。



禁止

- 本装置は高温になる場所で使用しないでください。故障や劣化の原因になります。



指示を守る

- 据付は、重量に十分耐える場所に確実に固定してください。強度不足や据付が不十分な場合は、本装置の転倒により、けがの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

注意



指示を守る

- 本装置を長期間使用しない場合 6 ヶ月に一度は通電して充電してください。
充電せずに長期間放置されると内蔵電池が過度に放電し、電池内部の異常な化学反応によって、漏液、発熱などの原因になります。



禁止

- 本装置に貼り付けてあるラベルを汚したり、剥がさないでください。
ラベルには安全上のご注意、仕様、連絡先などの重要事項が印刷されています。



指示を守る

- 本装置の出力コンセントに接続する電気機器の取扱説明書をよくお読みください。
電気機器の思わぬ作動により、事故やけがの原因になります。



指示を守る

- 電気機器を接続する前に、電気機器が停止（電源オフなど）状態にあることを確認してください。
電気機器の不意の始動により、事故やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本装置の汚れをふき取る場合は、濡れぞうきんを使用しないでください。
濡れた布でふき取ると水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本装置の汚れをふき取る場合は、湿式ウェットティッシュなどは使用しないでください。
アルコール系溶剤や水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本装置の汚れを落とすために、スチーム洗浄器を使用しないでください。
水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本装置に水をかけないでください。
内部に水が浸入し基板の回路が短絡し、感電・発火の原因になります。



禁止

- 本装置の近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
火災や爆発を引き起こす可能性があります。



水ぬれ禁止

- 本装置を水洗いしたりコップや花瓶など液体の入った容器を載せたりしないでください。
水濡れにより、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

注意



禁止

- 本装置につながったコンセントに破損した機器や延長ケーブル等を接続しないでください。故障や発熱、発煙、火災などの原因になります。



禁止

- 本装置の近くで水蒸気を発する機器などを使用しないでください。機器内部に水分が入り、発煙、発火などの原因になります。



禁止

- 本装置の近くで殺虫剤・燻煙剤・燻蒸剤を使用しないでください。殺虫剤・燻煙剤・燻蒸剤は、故障の原因になります。



禁止

- 本装置の近くでたばこを吸わないでください。故障や劣化などの原因になります。



指示を守る

- 直射日光を避けて設置してください。故障や劣化などの原因になります。



禁止

- 本装置を横置きしないでください。ファンの空冷効率が低下し温度異常が発生する原因になります。



指示を守る

- ACケーブルに足を引っ掛けないようにケーブルを配置してください。故障や怪我などの原因になります。



指示を守る

- 本装置を設置するときは、レベルフット4ヶ所を廻して簡単に動かないよう固定してください。固定が不完全な場合、装置が転倒や移動し、事故やけがの原因になります。



禁止

- 付属の AC コードのプラグを本機の出カコンセントに挿入しないでください。故障や劣化などの原因になります。



禁止

- 本装置の上に乗ったり、踏みつけたりしないでください。故障や劣化などの原因になります。



禁止

- 延長コード・テーブルタップなどを出力コンセントにつなぐ場合、1500W 対応でないものを使用しないでください。故障や発熱、火災などの原因になります。

特徴と使いかた

- 小型軽量 : 5.6kWh をサイドキャビネットサイズで実現
- 使用時間 : 接続機器の合計が 500W の場合、使用時間の目安は約 9 時間^{※1}
- UPS 機能 : 自動的に停電を検知し、瞬間的 (0.01 秒以下) に電池からの出力に切り替え
- 未使用時の節電機能 : 停電の際、不使用時に出力スイッチ (Power) を OFF する事で使用時間の延長可能^{※2}
- 設置、配線工事不要 : コンセントプラグ対応
- 可搬型 : 必要な場所へ移動が可能なキャスター付

※1 : 内蔵電池には寿命があり、充放電回数を重ねたり、時間が経過するにつれて内蔵電池容量は徐々に低下するため、使用できる時間が短くなります。

※2 : 不使用時の電池消費節約操作についての詳細は [→ P15](#) を参照してください。

重要なお知らせ

内蔵 (リチウムイオン) 電池には寿命があります

内蔵電池は経年により容量が減少します。容量が減少した内蔵電池は規定の性能を満たすことができなくなります。

- 寿命がきた内蔵電池は交換が必要です。リサイクルしますので、マクセルサポートセンターまでご連絡ください。

寿命判定による動作の停止機能について

本装置は自動的に内蔵電池の寿命を判定し、強制的に充電・放電の動作を停止する機能を搭載しています。

- 内蔵電池の容量が定格容量に対して 50%未滿に減少した場合
(周囲温度や使いかたにより、容量が減少する時間は異なります。)

使用上のお願い

- 停電時に満充電で使用するために、長期不在にする場合でも本装置は常に電源が入力された状態になるようにしておいてください。(ブレーカーを落とさない、AC 入力プラグを抜かない、出力スイッチ (Power) をオフにしない等)

消費電力別の使用時間の目安

表記の値は、製品出荷時（周囲温度 25℃）における満充電からの使用時間の目安です。
（当社で測定した参考値です。）
ご使用になる機器メーカーや機種によっても異なる場合があります。

接続機器消費電力合計	使用時間の目安
50W	66 時間 20 分
100W	38 時間
200W	20 時間 50 分
500W	9 時間
800W	5 時間 20 分

ご注意

接続する機器の消費電力合計は、800W以下にしてください。定格以上の電力が消費された場合、内蔵電池からの出力を停止することがあります。

接続する機器に関するご注意

使用できる製品とできない製品

本装置の出力コンセント等に接続して、使用できない製品があります。

下記の表から使用できない製品は接続しないようにしてください。

使用できる製品例 ^{※1}	使用できない製品例
<ul style="list-style-type: none">● 携帯電話充電器● 卓上蛍光灯● インバータ方式蛍光灯● ノートPC● デスクトップPC● AV 機器（DVD レコーダ・DVD プレーヤ・BD プレーヤ・HDD レコーダ）● LED シーリングライト ● 空気清浄機● 液晶テレビ ● 光電話 ● ゲーム機器● ONU● HUB● HEMS コントローラなど  <p>合計：800W以下 ^{※2}</p>	<ul style="list-style-type: none">● 医療機器 ● 防犯機器 ● 洗濯機 ● 掃除機● 加湿器 ● ヘアードライヤ ● 電子レンジ● トースタ ● オープンレンジ● ホットプレート ● IH 調理器・電磁調理器● 自動食器洗器 ● 炊飯器 ● 扇風機● 電気ポット ● 電気ケトル ● ホットプレート● アイロン ● コタツ ● 電気カーペット● 観賞魚等の水槽用エアープンプ● エアコン ● 餅つき機 ● 衣類乾燥機など● 自動給餌機 ● ワインセラー● ヒーター ● 生ゴミ処理機● ミキサ ● 布団乾燥機● 冷蔵庫 ● スチーム洗浄機 

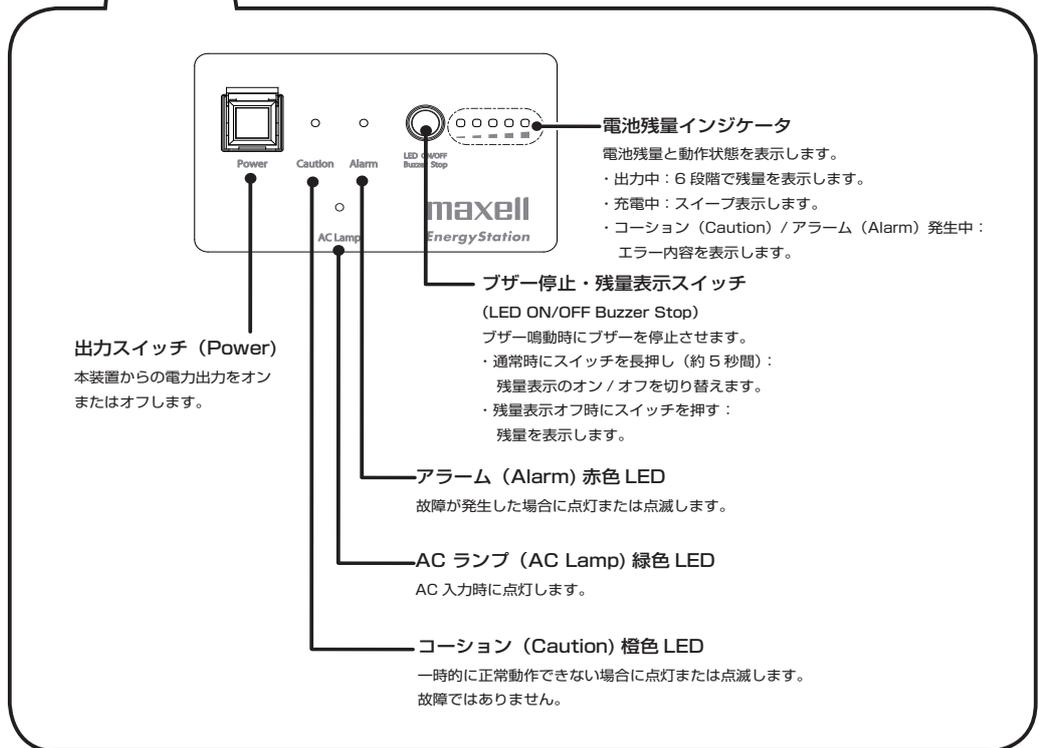
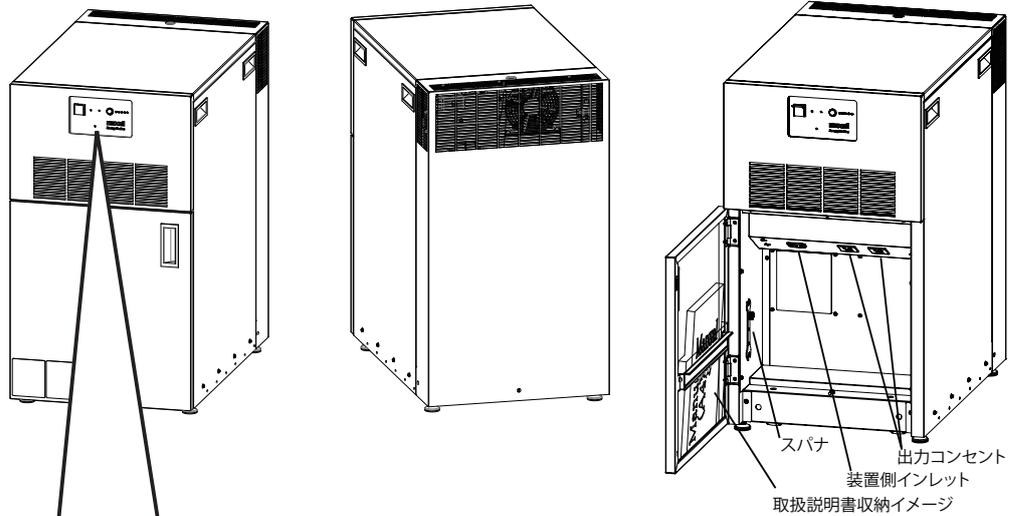
※1：すべての製品の動作を保証するものではありません。
※2：接続される機器の消費電力合計が 800W 以下であってもプラズマテレビ、大型の液晶テレビなど起動時に大きな電力を消費する機器や、モーターを搭載した機器などの負荷変動の大きい機器など使用できない場合があります。

- 接続する機器が正常に動作することをあらかじめ確認いただいた後から、接続してください。
- 使用できる機器の消費電力は合計 800W 以下ですが、機器によっては消費電力が 800W 以下であっても、能力が低下したり使用できない場合があります。
- 本装置に接続したラジオやオーディオプレーヤ、テレビ画面などにノイズが出る場合があります。
- 停電時に自動的に内蔵電池からの出力に切り替わりますが、その際、短時間（0.01 秒）電力が低下するため、テレビ画面の一時的な乱れやラジオ等にノイズが出る場合があります。
- 生命に直接かかわる医療機器、システム、人身の損傷に至る可能性のあるシステム、社会的・公共的に重要なシステム、またはこれに準ずる装置・システムにはご使用できません。

同梱品の確認

- 取扱説明書（本書）・・・1部
（補足資料を同梱する場合があります）
- 簡易取扱説明書・・・1部
- ACケーブル・・・1本
- 保証書・・・1部
- 据付確認書・・・1部
- スパナ・・・1本
- 蝶ネジ・・・1個

各部のなまえと操作パネル



操作パネルの見かた

	操作パネルランプ表示	装置の状態	動作状況
ランプの点灯		停止中	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オフ ● 出力供給 : 停止 ● AC 入力 : 無
		待機中	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ※1 : 消灯 ● 出力供給 : 商用電源から供給 ● AC 入力 : 有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※ 1 電池残量インジケータは、使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。 </div>
		充電中	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ : スイープ表示 ● 出力供給 : 商用電源から供給 ● AC 入力 : 有
		バックアップ 運転中 (放電中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ※1 : 点滅または消灯 (電池残量を表示) ● 出力供給 : 内蔵電池から供給 ● AC 入力 : 無 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※ 1 電池残量インジケータは、使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。 </div>

電池残量	電池残量
10%以下	41~60%
11~20%	61~80%
21~40%	81%以上

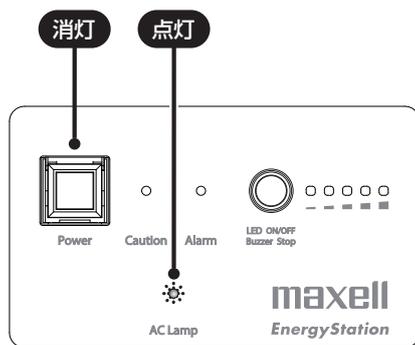
設置後にはじめてご使用になる場合

本装置は出荷時は満充電ではありません。設置後初めて使用する際、満充電まで自動的に充電が行われます。
(1日程度)

運転する

1

AC 入力プラグをコンセントに差し込むと、AC ランプが点灯します。

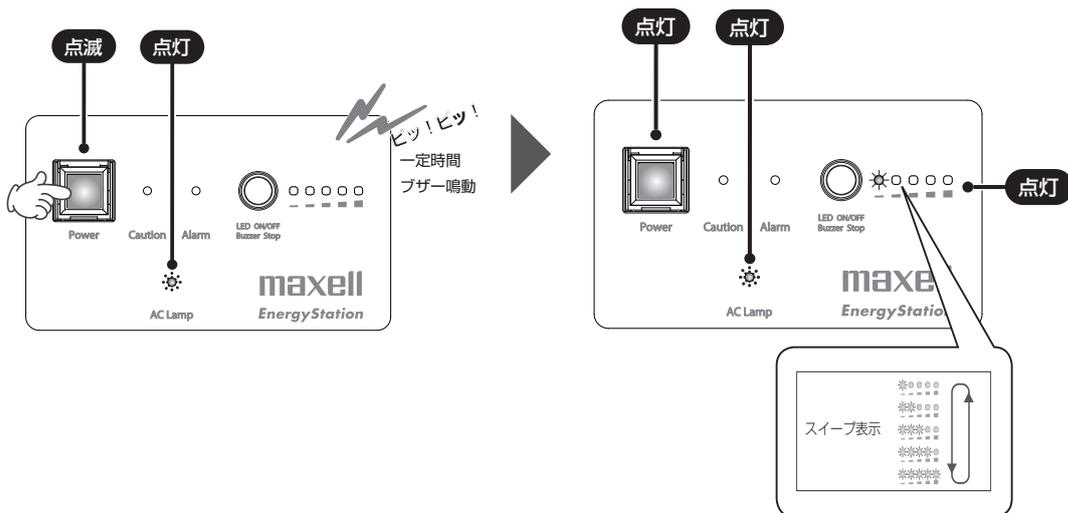


2

装置の出力スイッチ (Power) をオンにします。

出力スイッチ (Power) が点滅し、ブザーが鳴ります。しばらくすると、出力スイッチ (Power) が点滅から点灯に変わり、充電が開始されます。

※ブザー停止・残量表示スイッチを押してもブザーは停止しません。



設置後にはじめてご使用になる場合（つづき）

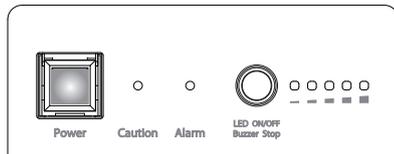
接続機器の消費電力が許容範囲内か確認する

消費電力が許容範囲内か確認を行います。（推奨手順）

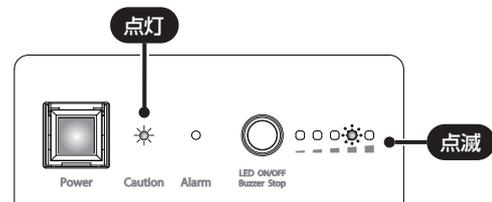
- 1 商用運転中に本装置の出力コンセントに、対象機器を接続します。
接続した機器の電源取扱いは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 2 5～10分間、コーションLEDが点灯しないか確認します。
消費電力の合計が800Wを超えている場合は、コーションLEDが点灯し左から4番目の残量インジケータが点滅します。

消費電力が800Wを超えていない場合



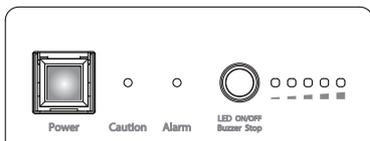
消費電力が800Wを超えている場合



- 3 使用優先順位の低い機器を本装置の出力コンセントから外します。
コーションLEDが点灯し左から4番目の残量インジケータが点滅した場合は、消費電力の合計が800Wを超えています。消費電力の合計が800Wを超えないようにご使用ください。

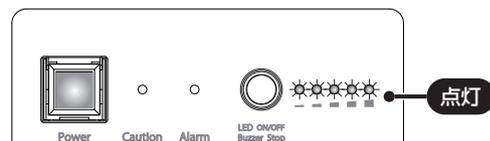
充電が完了した場合

本装置の充電が完了すると次のような表示（待機中）になります。



待機中（動作正常）

充電完了直後は待機中になり、電池残量インジケータは「消灯」します。



電池残量を確認する場合は、ブザー停止・残量表示スイッチを1秒間押してください。

電池残量インジケータが全点灯し、残量を表示後、消灯します。

※5秒以上ブザー停止・残量表示スイッチを押した場合、表示モードが変わります。➔P17

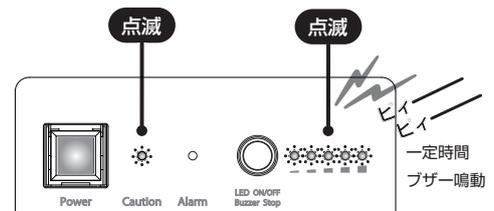
停電時の操作

停電が発生した場合

- 1 操作パネルのコーションLEDが点滅し、ブザーが一定時間鳴ります。
電池残量が一定以上ある時は、自動的に内蔵電池からの出力に切り替わります（バックアップ運転）。

商用電力が回復すると・・・

自動的に商用運転（商用電源からの出力）に切り替わります。電池残量が減っている場合は充電します。

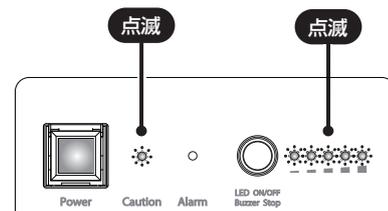


不使用時の電池消費節約操作

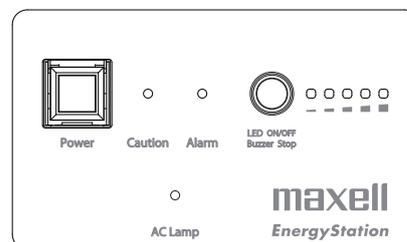
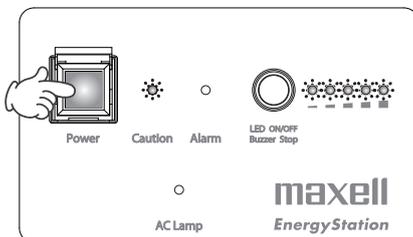
不使用時は本装置の出力を停止することで、内蔵電池の消費を大幅に節約できます。出力を停止する前に接続機器の電源をすべてオフにしてください。

出力スイッチ（Power）をオフにすると自動的に全ての接続機器への通電は停止されます。

- 1 停電時のパネル表示は以下のようになります。
コーションLEDと電池残量インジケータが点滅表示します。



- 2 出力スイッチ（Power）のカバーを開きスイッチをオフにします。
LEDが消灯し、出力を停止します。



全消灯

再度使用したい場合・・・

出力スイッチ（Power）のカバーを開き、スイッチをオンにします。

※ 起動時に必ずブザー音が鳴りますが異常ではありません。

シャットダウン操作

本装置をシャットダウンする

ご注意

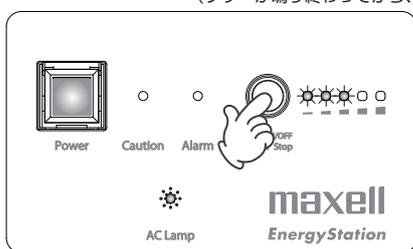
- 倉庫で保管する等、長期使用しない場合は、シャットダウン操作を行ってください。
- シャットダウン操作を行う前に、電池残量インジケータが3つ以上点灯するまで充電してください。

1

商用電源が通電中に、出力スイッチ (Power) がオンの状態で、ブザー停止・残量表示スイッチ (LED ON/OFF Buzzer Stop) を 10 秒間押します。

ブザーがピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピッ・ピーと鳴ってから、指を離します。

1 10 秒間押す
(ブザーが鳴り終わってから、指を離します)



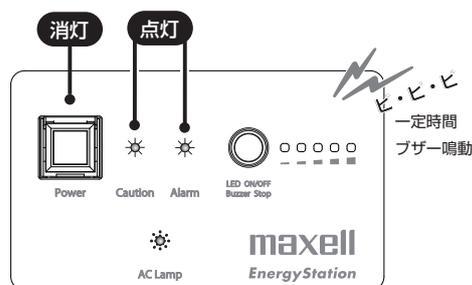
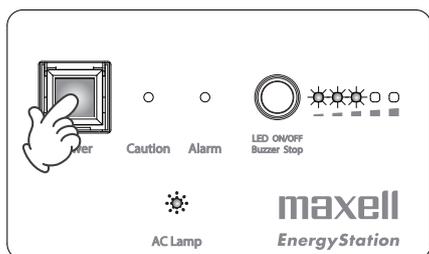
2

出力スイッチ (Power) を押し、オフします。

ブザーが 3 回ピ・ピ・ピと鳴りコーション LED とアラーム LED が同時に点灯します。

(AC 入力プラグを抜くまで点灯を保持します。)

2 押す



ご注意

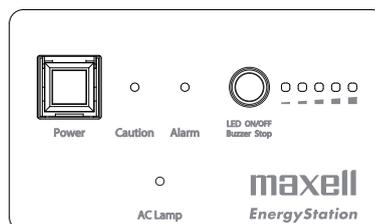
ブザーが 3 回 (ピ・ピ・ピ) と鳴らず、コーション LED とアラーム LED が同時に点灯しない場合は、出力スイッチ (Power) がオフになっていることを確認してください。

AC 入力プラグを抜き、約 20 秒待ってから出力スイッチ (Power) をオンにして、再度「シャットダウン操作」1 項から行ってください。

3

AC 入力プラグをコンセントから抜きます。

20 秒以上経過後に、全消灯したことを確認してください。



全消灯

ブザー停止・残量表示スイッチの使いかた

ブザー停止・残量表示スイッチ (LED ON/OFF Buzzer Stop) を 1 秒以上押した時に下記動作をします。(1 秒以下であれば、何も動作しません)

① 1 秒以上 5 秒未満

停電時や異常時にブザー音が鳴った場合は、ブザーを停止させることができます。(起動時のブザー音は停止できません)

待機中に押すと、電池残量インジケータに電池残量を表示後、消灯します。

異常時に押すと、コーション・アラームの表示パターンが変わります。

② 5 秒以上 10 秒未満 (ブザーが鳴ったら離してください。押し続けると③になります。)

待機中に押した場合は、ピッピッとブザーが鳴り、常時残量を表示させるモードになります。

再度 5 秒間押すとピッピッとブザーが鳴り、常時残量を表示させない通常モードに戻ります。

充電中に押した場合は、ピッピッとブザーが鳴り常時残量を表示させるモードになりますが、充電が終わるまではスイープ表示されます。

※バックアップ運転中には、電池残量表示が常時表示されます。

③ 10 秒以上

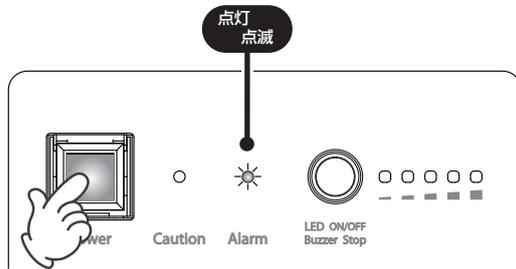
「シャットダウン操作」参照 [➔P16](#)

ご注意

充電中に残量を確認したい場合は、AC入力プラグを抜きバックアップ運転にし確認してください。確認後、必ずAC入力プラグを挿して充電してください。

アラーム発生時の復帰方法

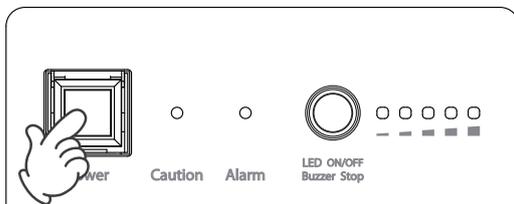
- 1 出力スイッチ (Power) のカバーを開きスイッチをオフにします。
LED が消灯し、出力を停止します。



- 2 AC入力プラグをコンセントから抜きます。
1 分間待ちます。

- 3 AC入力プラグを再度コンセントに挿します。

- 4 出力スイッチ (Power) のカバーを開きスイッチをオンにします。



- 5 アラーム LED が消灯していることを確認してください。
アラーム LED が消灯にならなければ、マクセルサポートセンターまでお問い合わせ
ください。 ➔ P31

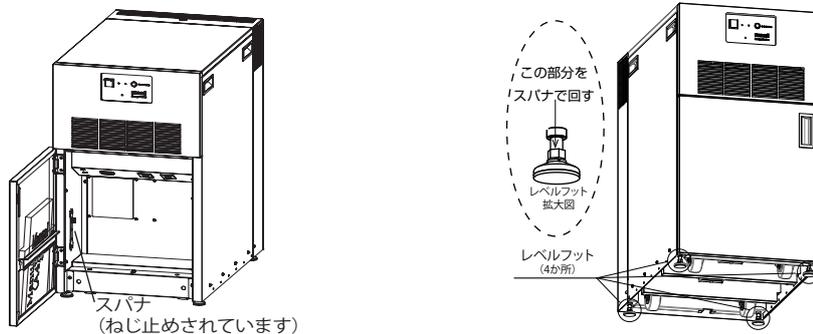
本機を移設する場合

1 出力スイッチ (Power) のカバーを開きスイッチをオフにします。

2 出力側、入力側共に全てのケーブルを外します。

ご注意 ケーブルが接続された状態で本装置を移動すると怪我や故障の原因となります。

3 レベルフット 4 ヶ所を同梱のスパナで廻して解除します。



4 移動します。(移動距離が長い場合、台車に乗せて移動してください。)

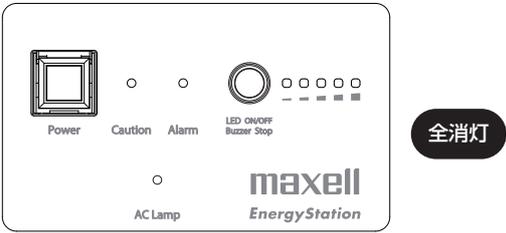
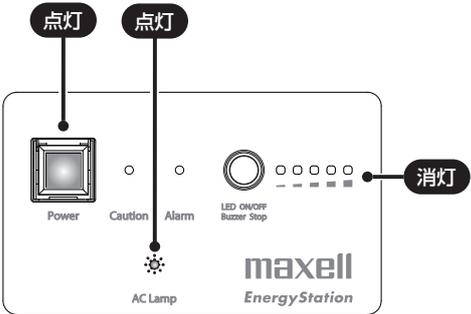
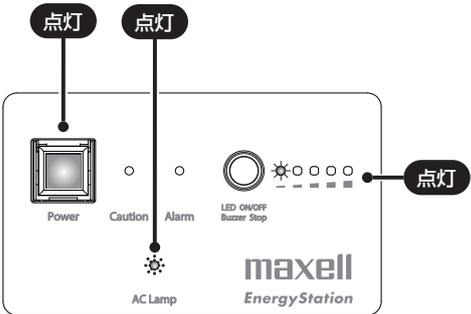
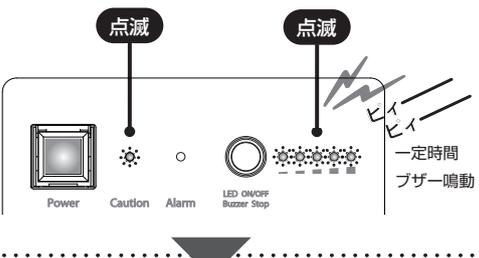
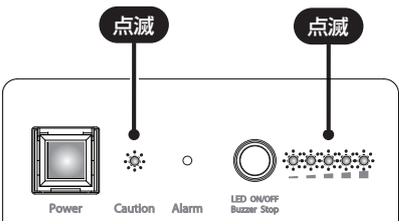
ご注意 怪我を防止するため、作業は複数人で行ってください。
レベルフット破損防止のため床に段差がある場合は、持ち上げる等で移動させてください。

5 レベルフット 4 ヶ所を廻して床に接触させ、同梱のスパナで固定 (設置) します。

ご注意

- 本装置を仮置きする場合はその下に養生を行ってください。
- 落下厳禁です。落下させた場合は据付しないでください。内蔵電池が内部短絡して発煙・発火の原因になります。
- 本装置は横置き禁止です。横置きするとファンの空冷効率が低下し温度異常が発生する原因になります。
- 本装置の質量 (約95kg) に十分耐えられる場所に設置してください。
- ACケーブルに足を引っ掛けないようにケーブルを配置してください。
- ACケーブルの入力側は延長コードによる途中接続やタコ足配線しないでください。
- 分電盤の分岐ブレーカは独立した回路を割り当ててください。回路が独立していない場合は、本装置の過負荷保護機能が働く前に分岐ブレーカ側の過電流検出の方が先に働き停電検出されることがあります。
- ACケーブルの両端は根元まで確実に差込み接続してください。
- ACケーブルのAC入力プラグにはアース線なし2極変換アダプタを使用しないでください。

装置の動作状態

	操作パネルランプ表示	装置の状態	対処方法
停止中		<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オフ ● 出力供給 : 停止 ● AC 入力 : 無 	特に操作の必要はありません。
待機中		<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ : 消灯 ● AC 入力 : 有 ● 出力供給 : 商用電源から供給 	充電が完了している状態です。特に操作の必要はありません。
充電中		<ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ : スイープ表示^{※1} ● AC 入力 : 有 ● 出力供給 : 商用電源から供給 <p>※1 : スイープ表示は  P12 を参照ください。</p>	特に操作の必要はありません。
バックアップ運転中		<ul style="list-style-type: none"> ● 停電になりバックアップ運転に自動的に切り替わりました。 	特に操作の必要はありません。
		<p>バックアップ運転になり約 30 秒後</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出力スイッチ (Power) : オン ● 電池残量インジケータ^{※2} : 点滅または消灯 (電池残量を表示) ● 出力供給 : 内蔵電池から供給 <p>※2 : 電池残量インジケータ表示は  P12 を参照ください。</p>	

装置の動作状態（つづき）

	操作パネルランプ表示	装置の状態	対処方法
電池残量が少ない（バックアップ運転中）	<p>点灯</p> <p>点滅 消灯</p> <p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p>	間もなく内蔵電池残量がなくなります。	
	<p>点滅</p> <p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p>		停電復帰後、自動復帰します。（操作不要）
	<p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p> <p>maxell EnergyStation</p> <p>AC Lamp</p> <p>全消灯</p>	残量がなくなったため装置が停止しました。	
過負荷（バックアップ運転中）	<p>点灯</p> <p>点滅</p> <p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p>	消費電力が定格電力（800W）を超えているため、バックアップ運転を継続できません。	接続機器を外し、消費電力を減らしてください。ブザーが鳴動してから60秒以内に消費電力を減らせば、ブザーが停止し、正常運転に自動復帰します。
	<p>点滅</p> <p>点滅</p> <p>点滅</p> <p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p>	コーション：2回点滅の繰り返し。	接続機器を外し、消費電力を減らしてください。
	<p>点滅</p> <p>Power Caution Alarm LED ON/OFF Buzzer Stop</p>	バックアップ運転中に消費電力が定格電力（800W）を超える状態が60秒以上継続したため、出力を停止しました。出力が停止したことをお知らせするためブザーが鳴動します。	出力スイッチ（Power）をOFF/ONしてください。運転出来ない場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。 ➔ P31

装置の動作状態（つづき）

	操作パネルランプ表示	装置の状態	対処方法
過負荷		<p>残量インジケータ：4 番目点滅。 消費電力が定格電力 (800W) を超えています。内蔵電池の充電は停止されます。</p>	<p>接続機器を外し、消費電力を減らしてください。 800W 以下になれば正常に戻ります。</p>
過負荷停止		<p>コーション：2 回点滅の繰り返し。 消費電力が定格電力 (800W) を大きく超えたため、出力を停止しました。</p>	<p>接続機器を外し、消費電力を減らした後、出力スイッチ (Power) を OFF/ON してください。</p>
放電温度範囲外		<p>残量インジケータ：2 番目点滅。 内蔵電池の温度が使用範囲外（高温、もしくは低温）になりました。内蔵電池に充放電できません。 ※バックアップ運転時は出力を停止し全消灯</p>	<p>温度が使用温度範囲内になれば、正常に戻ります。（特に操作は必要ありません） ※バックアップ運転時は出力スイッチ (Power) を OFF/ON してください。</p>
充電温度範囲外		<p>残量インジケータ：2 番目点灯。 内蔵電池の温度が使用範囲外（高温、もしくは低温）になりました。内蔵電池に充電できません。</p>	<p>温度が使用温度範囲内になれば、正常に戻ります。（特に操作は必要ありません）</p>
温度異常高温・低温		<p>コーション：3 回点滅の繰り返し。 内蔵電池の温度が異常に高温または低温になりました。出力を停止します。 ※バックアップ運転時は全消灯</p>	<p>使用環境温度を上げ（又は下げ）て、しばらく放置した後、出力スイッチ (Power) を OFF/ON してください。</p>

装置の動作状態（つづき）

	操作パネルランプ表示	装置の状態	対処方法
機内温度上昇		<p>残量インジケータ：2 & 3 番目点滅。 装置が高温になりました。</p>	<p>温度が使用温度範囲内に下がれば、正常に戻ります。 (特に操作は必要ありません)</p>
		<p>残量インジケータ：2 & 4 番目点滅。 装置が高温になりました。 内蔵電池の充電は停止されます。 バックアップ運転は継続されます。</p>	
電池調整		<p>残量インジケータ：3 & 5 番目点滅。 内蔵電池を調整中です。 内蔵電池への充電は停止されます。</p>	<p>半月経過しても警告が続くようであれば、サポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>➔ P31</p>
電池寿命		<p>残量インジケータ：3 & 4 番目点滅。 内蔵電池容量が 60% 未満となりました。</p>	<p>電池寿命 (50% 未満) になると装置が使えなくなります。電池交換が必要であればサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>➔ P31</p>
電池過電圧		<p>残量インジケータ：3 & 4 番目点灯。 内蔵電池の電池電圧が高めです。充電を停止します。</p>	<p>特に操作は必要ありません。エラーが続くようであればサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>➔ P31</p>

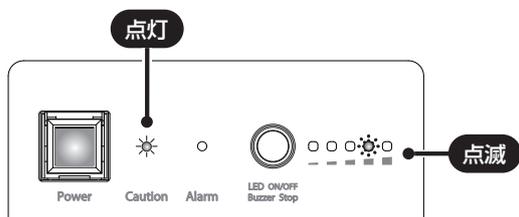
装置の動作状態 (つづき)

	操作パネルランプ表示	装置の状態	対処方法
内蔵電池シャットダウン		アラーム：2回点滅の繰り返し。 又は 残量インジケータ：4番目点滅 内蔵電池がシャットダウンしました。 もしくは、電池電圧が低いです。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31
		残量インジケータ：5番目点滅。 又は アラーム：1回点滅の繰り返し。 内蔵電池がシャットダウンしたため、内部通信が不能です。 もしくは、内部通信に異常が発生しました。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31
内部通信異常		アラーム点滅もしくは点灯。 装置が故障しています。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31
		全消灯。 出力スイッチ (Power) を OFF/ON しても全消灯のまま変化なし。 装置が故障しています。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31
その他異常		全消灯。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31
		全消灯。	アラーム発生時の復帰方法 ➔ P18 を行っても、同じ状態の場合はサポートセンターにお問い合わせください。 ➔ P31

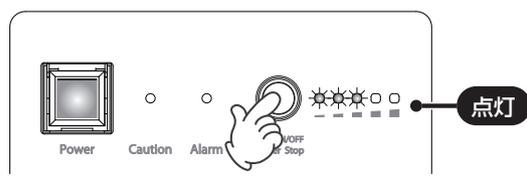
コーション・アラーム発生時の表示

(例) 過負荷の場合

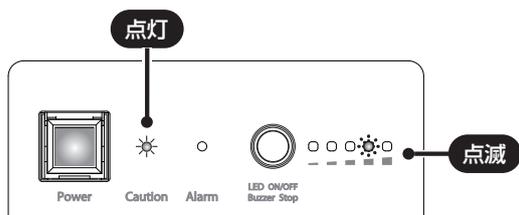
1 過負荷発生時、電池残量インジケータに過負荷コーションパターンが表示されます。



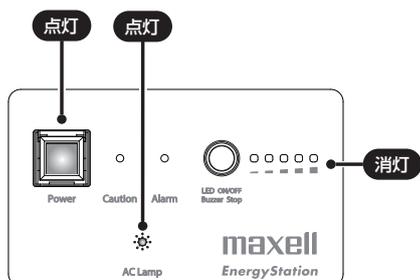
2 ブザー停止・残量表示スイッチを1～5秒間押した場合、表示モードが変わります。バックアップ運転中や、常時残量を表示させるモード等、残量が表示できる場合は、残量を表示します。充電中の場合は、スイープ表示します。いずれも表示できない場合は、消灯します。



3 再度コーションパターンを表示させたい場合は、再度ブザー停止・残量表示スイッチを1～5秒間押してください。コーションパターン表示に切り替わります。



4 コーションが解除されると通常表示に戻ります。

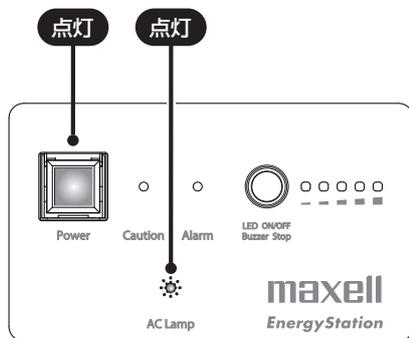


ご注意

ブザー停止・残量表示スイッチを1～5秒間押した場合は、コーションパターン表示⇔残量表示もしくは、コーションパターン表示⇔消灯、もしくはコーションパターン表示⇔スイープ表示と切り替わります。

メンテナンスについて

1 回 / 日 下記の点検を行ってください。(運転時 LED の点灯状態確認)



①左図の状態⇒正常

②コーションLEDもしくは
アラームLEDの点灯/点滅

⇒装置の状態(⇒P20)以降を確認し復旧してください。

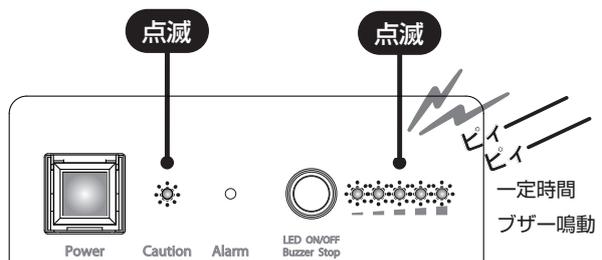
それでも変化がない場合はサポートセンターまでご連絡
ください。(⇒P31)

1 回 / 年 下記の点検を行ってください。(停電時の動作確認)

1 停電時の電力供給が確認できるように適当な機器を接続しておいてください。
ただし、万が一電力供給が出来ない場合もあるので、重要な機器は外しておいてください。

2 AC入力プラグをコンセントから抜きます。

3 操作パネルのコーションLEDが点滅し、ブザーが鳴ります。電池残量が一定以上ある時は、自動的に内蔵電池からの出力に切り替わります(バックアップ運転)。



4 本装置出力先コンセントから電力が供給されているか確認してください。

5 AC入力プラグをコンセントに差し込みます。
ACランプ(緑色)が点灯します。

非常停止する

本装置から異臭、異音、発熱、発煙が発生した場合は、分電盤の本装置用分岐ブレーカをオフにして、安全のため可能であれば出力スイッチ (Power) をオフにしてください。または出力コンセントから機器のACプラグを全て抜いてください。その後、マクセルサポートセンターへお問い合わせください。➔P31

よくあるご質問にお答えします

質問	回答
電池の寿命はどのくらいですか？	使用条件・設置条件（温度）にもよりますが、満充電状態でご使用いただいた場合には、10年が目安となります。
運転音は発生しますか？	機内冷却のためファンが動作しますが、その場合でも約40dBです。（一般的に40～50dBが事務所の騒音レベルと言われております）
停電の場合、何か操作は必要ですか？	自動的に本装置から給電されますので、操作は不要です。

故障かなと思ったら

下記の「対処」を行っても解決しない場合は、直ちにご使用を中止して、お買い上げの販売店またはマクセルサポートセンターまでお問い合わせください。➔P31

現象	状態	主な原因	対処
全消灯	動作しない	本装置に電源が接続されていない	AC入力プラグが確実に装置側インレットに差し込まれている事、及びコンセントに差し込まれている事を確認ください。
機器が使えない	機器を接続したが、動作しない	機器に電力が供給されていない	AC入力プラグが確実に装置側インレットに差し込まれている事、及びコンセントに差し込まれている事を確認ください。
停電時の使用時間が短い	電池残量が早く減る	機器の負荷が大きい	接続する機器の合計消費電力を下げてください。
		内蔵電池が寿命	電池寿命のパターンのコーションが表示されている場合は、電池寿命が近いです。 ➔P23 サポートセンターにお問い合わせください。 ➔P31

仕様

製品名称		エナジーステーション タイプT	
品番		SES080T-056E	
本体	入力	定格電圧	AC 100 V
		充電時間	約24時間 ^{*1}
		相・線式	単相2線 接地端子付き3Pプラグ 中性線有
		定格周波数	50 / 60 Hz
		定格電流	定格負荷、満充電時 : 10 A 定格負荷、充電電流最大時 : 14 A
		回路遮断器	商用電源直送用 : 20 A 充電器・制御用 : 10 A
	出力	定格電圧	AC 100 V
		相・線式	商用電源運転時 : 単相2線 接地端子付き3Pソケット 中性線有 バッテリー運転時 : 単相2線 接地端子付き3Pソケット 中性線なし
		定格周波数	50 / 60 Hz
		定格電力	皮相電力 : 1000 VA、有効電力 : 800 W
		過負荷保護	商用電源運転時 : 12 A バッテリー運転時 : 定格電力の110%以上
	外部通信機能	インターフェース	有線 LAN
		対応プロトコル	ECHONET Lite Version 1.01 Appendix Release B 対応
	蓄電池	定格蓄電池容量	5.6 kWh
		種類	リチウムイオン電池
	使用環境	周囲温度	0 ~ 40 °C
		湿度	10 ~ 90% RH (結露なきこと)
		使用場所	室内 (直射日光のあたる場所や湿度の高いところには放置しないこと)
	その他	運転音	約 40 dB ^{*2} (ファン動作中、正面 1m)
		寸法	W390mm D620mm H700mm
		質量	約 9.5 kg

※ 1 : 温度環境により充電時間が変化します。

※ 2 : 反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に取り付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け、表示の数値より大きくなります。ホコリやチリの多い環境に設置すると、ファンが傷んだり、負荷が大きくなり、運転音が大きくなる場合があります。

取扱説明書で使用している用語・略語

ECHONET Lite 規格	エコネットコンソーシアムが策定したスマートハウス向けの通信規格。エアコンなどの家電製品、本装置、給湯器などと情報をやり取りする通信方式を規定。
HEMS	Home Energy Management System（家庭内電力制御システム）の略。
LED	Light Emitting Diode（発光ダイオード）の略。
ONU	光ネットワークユニット (Optical Network Unit : ONU) の略（回線終端装置）
アラーム LED	故障状態の時に点滅。
コーション LED	警報状態の時に点滅。過剰な負荷など復帰可能な状態。
インバータ方式	圧縮機やモータの回転数を変化させ効率よく運転する方式。
過負荷	本装置につながる機器の電力が許容値を超えている状態。
残量表示	内蔵電池の満充電に対する割合を表示（絶対量ではありません）
バックアップ運転	停電時に内蔵電池からの出力に切り替えて動作している状態。

配線用推奨部品

名称	定格
LAN ケーブル	CAT5 以上

ご参考（つづき）

本装置の設計標準使用期間について

本装置は、設計標準使用期間^{*1}を 10 年、寿命の判定を定格容量の 50% と定めており、この期間と蓄電容量を超えて使用されると、経年劣化による発煙、発火等の事故に至るおそれがあります。そのため、使用期間が 10 年を経過した時点で交換してください。

定格容量の 50% 未満に減少しますと本装置は停止し、その後は使用できなくなります。

※ 1：設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の使用条件表を参照）の下で正しくご使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

項目	条件
1. 使用環境 温度 / 湿度	25℃ / 50% RH
2. 使用条件	満充電状態

注意

本装置の停止後は必ず AC 入力プラグはコンセントから抜いてください。本装置の撤去、交換については、マクセルサポートセンターまでご連絡ください。 [→ P31](#)

リサイクルにご協力をお願いします。

設計標準使用期間

10 年

本装置の廃棄について

本装置の廃棄に関しては、「保証とアフターサービス」に記載のマクセルサポートセンターまでお問い合わせください。 [→ P31](#)

保証とアフターサービス

■ 保証書

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。
また、保証書はよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■ 本装置に関するお問い合わせ先

本装置に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

マクセルサポートセンター

TEL : 0120 - 977 - 282

IP 電話の場合、上記番号がつかない場合 : TEL: 03-3432-3188

(受付時間) 9:00 ~ 21:00 (365日)

(電話番号、受付時間は変更になることがあります。)

弊社ではご相談内容を正しく把握し、正確にご回答するため、および電話対応の品質向上のために
通話内容を録音させていただいております。あらかじめご了承ください。

マクセル株式会社

〒618-8525 京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1番地

- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社もしくは業務委託先に個人情報を提供し対応させていただく場合がございます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ご転居されるとき

ご転居されるときは、必ず上記マクセルサポートセンターにご連絡ください。

本取扱説明書の URL について

本取扱説明書は下記 URL からもお覧いただけます。

http://biz.maxell.com/ja/energy_station/pdf/Energy_TypeT_InstructionManual.pdf

※ 上記 URL は予告なく変更になる場合もあります。ご了承ください。



マクセル株式会社

<http://www.maxell.co.jp>